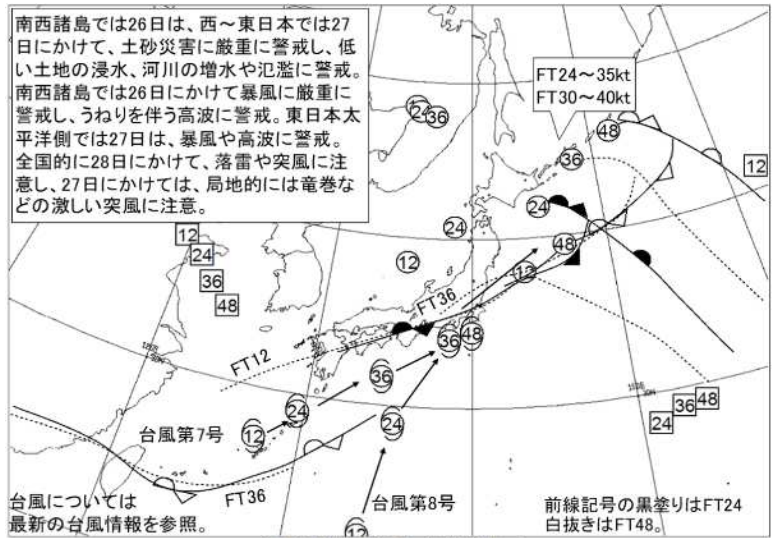


1. 実況上の着目点

- ① 前線が東シナ海から西日本を通り伊豆諸島付近へのびている。500hPa 5700m付近の寒気を伴うトラフが朝鮮半島付近を南東進。トラフ前面の東シナ海～西日本は積乱雲が発達して線状化、激しい雨を観測。多数の雷を検知。
- ② ①のトラフ対応の低気圧が日本海を北東進。
- ③ 台風第7号は沖縄の南を北上。沖縄地方では非常に強い風を観測し、海上は大しけ。台風の周辺で強い雨を解析。台風第8号が日本の南を北西進。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の前線は26日は西日本ではほとんど停滞し、27日にかけてトラフが日本海から日本の東へ進む。前線に向かって下層暖湿気が強く流れ込み、上空トラフの影響もあって大気の状態が不安定となり、雷った非常に激しい雨の降る所がある。西日本では26日は、東日本では27日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。落雷や局地的には竜巻などの激しい突風、降ひょうにも注意。また、西日本では、26日は対流雲が発達し組織化しやすくなることに留意。
- ② 1項②の低気圧は26日は日本海を北東に進み、2項①の前線上の低気圧が日本の東を北東進。2つの低気圧は27日朝までに一体化し千島近海へ進む。北日本では26～27日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨、強風や高波に注意。
- ③ 1項③の台風第7号は26日は南西諸島付近を北東に進み、27日は本州の南岸付近を東北東進する。一方、1項③の台風第8号は27日には東日本にかなり接近し、前線に向かって下層暖湿気が流れ込む。台風や前線付近では大気の状態が非常に不安定となり、南西諸島と西～東日本の太平洋側を中心に雷を伴った非常に激しい雨の降る所がある。26日は南西諸島で、西～東日本では27日は、土砂災害に厳重に警戒し、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。沖縄地方では26日昼前にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性があることに留意。台風第8号は27日夜までに、台風第7号は28日朝までに温帯低気圧に変わる見込み。
- ④ 2項③の台風第7号の周辺では、26日は猛烈な風が吹いて大しけとなる所がある。南西諸島では26日は暴風に厳重に警戒。南西諸島では26日は、西～東日本太平洋側では27日にかけて、暴風やうねりを伴った高波に警戒。28日も東日本では高波に注意・警戒。東北地方では強風に注意・警戒。
- ⑤ 28日は、前線や気圧の谷の影響を受ける。南西諸島と西～東日本では、落雷や突風に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(06時から24時間)：東海・近畿・四国・沖縄 200、九州南部・奄美 180、九州北部 120、関東甲信・中国 100mm
- ② 波浪(明日まで)：沖縄・奄美 7、伊豆諸島・東海・近畿 6、その他西～北日本の太平洋側で3～5m

5. 全般気象情報発表の有無

全般気象解説情報(台風第7号)を05時頃に発表予定。